

## 平成 27 年度入学者

平成 28 年 3 月 10 日

教養学部前期課程

(平成 28 年 3 月 29 日 一部変更)

(平成 29 年 5 月 12 日 一部変更)

### 留年等により平成 30 年度進学選択に参加する場合の 平均点計算・評価尺度等について

平成 27 年度入学者が留年等により平成 30 年度（平成 29 年実施）進学選択に参加する場合、進学選択に用いる平均点計算や評価尺度（重率・履修点等を含む）が入学時に配付された『履修の手引き』から変更されます。

成績等の評価は「基本平均点」で行うことを標準としますが、進学単位により、進学単位が指定する科目の成績に重率をかける場合、指定された科目を修得したことに対して履修点を加点する場合、または「基本平均点」以外の評価尺度により行う場合があります。詳細は別紙 A 「平成 27 年度入学者が平成 30 年度進学選択に参加する場合に用いられる評点」を参照してください。

添付：

別紙 A 「平成 27 年度入学者が平成 30 年度進学選択に参加する場合に用いられる評点」

(平成 29 年 5 月 12 日 一部追記)

別表 1 A 「学部・学科別 指定平均点一覧」(平成 29 年 5 月 12 日 一部追記)

別表 2 A 「学部・学科別 重率・履修点一覧」(平成 28 年 3 月 29 日 一部追記)

別表 3 「学部・学科別 面接・志望理由書一覧（予定）」

参考「留年等により平成 30 年度進学選択に参加する学生への注意事項」

## 別紙A 平成27年度入学者が平成30年度進学選択に参加する場合に用いられる評点

### (1) 評点の算出方式

- ① 進学選択における成績等の評価は「基本平均点」を用いて行うことを標準とするが、一部の進学単位においては、それとは異なる「指定平均点」を用いる。これらの平均点は、いずれも2S2ターム・2Sセメスターまでに履修した単位数と成績から算出される。

#### A. 基本平均点

「基本平均点」は、次の式で算出される。

$$\text{「基本平均点」} = \frac{\text{各科目の（評点} \times \text{単位数} \times \text{重率）の総計}}{\text{各科目の（単位数} \times \text{重率）の総計}}$$

「基本平均点」の計算に算入される科目、単位、及び重率（単位あたりの重み）は以下のとおりである。

#### 文科一類・二類・三類生

- 1) 外国語科目  
既修外国語（文科各類） 5単位（重率1）（注1）  
初修外国語（文科各類） 6単位（重率1）
  - 2) 情報（文科各類） 2単位（重率1）
  - 3) 身体運動・健康科学実習（文科各類） 2単位（重率1）
  - 4) 初年次ゼミナール文科（文科各類） 2単位（重率1）
  - 5) 社会科学（文科一・二類） 科類の要件を含め成績上位 8単位（重率1）  
社会科学（文科三類） 科類の要件を含め成績上位 4単位（重率1）
  - 6) 人文科学（文科各類） 科類の要件を含め成績上位 4単位（重率1）
  - 7) 総合科目（文科一・二類） 系別の単位取得条件を含め成績上位 21単位（重率1）（注2）  
総合科目（文科三類） 系別の単位取得条件を含め成績上位 25単位（重率1）（注3）
  - 8) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに単位取得した基礎科目（重率0.1）
  - 9) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに履修科目登録した展開科目・総合科目（重率0.1）
- （注1）英語・日本語以外を既修外国語として履修する場合は6単位。  
（注2）英語・日本語以外を既修外国語として履修する場合は20単位。  
（注3）英語・日本語以外を既修外国語として履修する場合は24単位。

#### 理科一類・二類・三類生

- 1) 外国語科目  
既修外国語（理科各類） 5単位（重率1）（注1）  
初修外国語（理科各類） 6単位（重率1）
  - 2) 情報（理科各類） 2単位（重率1）
  - 3) 身体運動・健康科学実習（理科各類） 2単位（重率1）
  - 4) 自然科学（理科一類） 任意選択科目を除く26単位（重率1）  
自然科学（理科二・三類） 任意選択科目を除く27単位（重率1）
  - 5) 総合科目（理科各類） 系別の単位取得条件を含め成績上位 15単位（重率1）（注2）
  - 6) 2S2ターム・2Sセメスターまでに単位取得した任意選択の基礎科目（重率0.1）
  - 7) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに履修科目登録した展開科目・総合科目（重率0.1）
- （注1）英語・日本語以外を既修外国語として履修する場合は6単位。  
（注2）英語・日本語以外を既修外国語として履修する場合は14単位。

#### B. 指定平均点

進学単位によっては、「基本平均点」とは異なる算出方式（「指定平均点」）を用いる場合がある。「指定平均点」を用いる進学単位、及び詳細については、別表1A「学部・学科別指定平均点一覧」を参照すること。

（注）平成30年度進学選択（平成29年実施）においては、教養学部（教養学科超域文化科学分科）、工学部（全学科）、農学部（全専修）が「指定平均点」を用いる予定である。

- ② 前記①において、成績評価が不可の科目はその評点が、欠席または未履修の科目は0点が、「基本平均点」または「指定平均点」に算入される。
- ③ 合格または不合格の評価による科目（基礎科目「初年次ゼミナール理科」、展開科目「社会科学ゼミナール」、主題科目、文科生が「基礎実験」を履修した場合は、**特に指定のない限り**は「基本平均点」または「指定平均点」に算入されない。
- ④ 総合科目について、重率「1」となる最終順位の科目が2単位科目で重率「1」の対象内外にまたがる場合は、2単位のうち1単位が重率「1」、1単位が重率「0.1」で「基本平均点」または「指定平均点」に算入される。
- ⑤ 総合科目D系列「スポーツ・身体運動実習」、**及び**「スポーツ・身体運動実習Ⅱ」**及び**「スポーツ・身体運動実習Ⅰ (PEAK)」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ (PEAK)」について、「基本平均点」または「指定平均点」に重率「1」で算入されるのは合わせて2単位まで、重率「0.1」で算入されるのは1単位までである。
- ⑥ 2年次終了時に留年した学生が、2Aセメスター（2A1ターム、2A2タームを含む）に履修した基礎科目、総合科目、展開科目の単位は、次年度の進学選択の際、「基本平均点」または「指定平均点」に算入される。  
 （注）留年直後の2Sセメスター（2S1ターム、2S2タームを含む）に履修した科目の成績も「基本平均点」または「指定平均点」に算入される。
- ⑦ **留年・降年した学生が留年・降年以前に履修科目登録していた科目のうち、成績評価が「欠席」の科目は「基本平均点」または「指定平均点」に算入されない。**

## (2) 指定重率・履修点

進学単位によっては、成績等の評価について個別に指定重率、履修点、またはその両方が適用される場合がある。これらは、「基本平均点」または「指定平均点」を基として次のいずれかの変更を行ったものである。

- 1) 当該進学単位が指定する科目の成績にそれぞれ指定された重率をかけて加重平均点を算出する。（指定重率）
- 2) 当該進学単位が指定する科目を修得したことに対し、指定された履修点を加点する。（履修点）
- 3) 当該進学単位が指定する科目の成績にそれぞれ指定された重率をかけて加重平均点を算出し、さらに、当該進学単位が指定する科目を修得したことに対し、指定された履修点を加点する。（指定重率及び履修点）

指定重率の対象となる科目は、当該進学単位を志望する場合、「(1) 評点の算出方式」及び別表1A「学部・学科別指定平均点一覧」の記載にかかわらず、指定重率が適用される。

指定重率及び履修点を用いる進学単位、及び詳細については、別表2A「学部・学科別重率・履修点一覧」を参照すること。

## (3) 面接・志望理由書等

進学単位によっては、第二段階、第三段階において面接や志望理由書等、成績以外の評価尺度を用いる場合がある。面接・志望理由書等を評価尺度として設定する進学単位、及び詳細については、別表3「面接・志望理由書一覧（予定）」を参照すること。

**なお、これらの評価尺度（上記(1)～(3)）は平成30年度進学選択（平成29年実施）に適用され、それ以降は変更となる場合もあるので、UTask-Webや掲示板で確認すること。**

(別表1A)

学部・学科別 指定平均点一覧  
(平成29年5月12日 赤字部分を追記)

本表には「基本平均点」の算出方式等と異なる部分のみが記載されている。それ以外は、「別紙A『平成27年度入学者が平成30年度進学選択に参加する場合に用いられる評点』(1)評点の算出方式 ①～⑦」の記載事項が適用される。

学部	学科等	対象となる進学選択の段階	平均点算出方式の詳細																																																
教養	超域文化科学	第二段階 第三段階	<p>「超域文化科学分科第二段階・第三段階指定平均点」の計算に算入される科目、単位、及び重率(単位あたりの重み)は、以下のとおりである。</p> $\text{「超域文化科学分科第二段階・第三段階指定平均点」} = \frac{\text{全履修科目※の(評点} \times \text{単位数} \times \text{重率} \text{)の総計}}{\text{全履修科目※の(単位数} \times \text{重率} \text{)の総計}}$ <p>※ 合格・不合格のみの評価による科目は含めない。 * 成績評価が評点で行われる全履修科目のうち、評点の高いものから上位6割の科目の重率を「1」、その他の科目の重率を「0.1」とする。「上位6割」の科目の決定にあたり、科目数の小数点以下は四捨五入する。</p>																																																
工	全学科	第一段階 第二段階 第三段階	<p>「工学部指定平均点」は、次の式で算出される。</p> $\text{「工学部指定平均点」} = \frac{\text{各科目の(下記換算表に基づく工学部評点} \times \text{単位数} \times \text{重率)の総計}}{\text{各科目の(単位数} \times \text{重率)の総計}}$ <p><b>評点換算表</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>0</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> <td>80</td> <td>85</td> <td>90</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td></td> <td>∫</td> </tr> <tr> <td></td> <td>49</td> <td>54</td> <td>59</td> <td>64</td> <td>69</td> <td>74</td> <td>79</td> <td>84</td> <td>89</td> <td>94</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>工学部評点</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </table> <p>「工学部指定平均点」の計算に算入される科目、単位、及び重率(単位あたりの重み)のうち、「基本平均点」と異なる点は以下のとおりである。</p> <p><b>文科一類・二類・三類生</b> (中略)</p> <p>8) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに単位取得した基礎科目 (重率0.1または1) (注4) 9) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに履修科目登録した展開科目・総合科目 (重率0.1または1) (注4) (中略)</p> <p>(注4)算入することにより「工学部指定平均点」が大きくなる場合に限り重率1。小さくなる場合は重率0.1。</p> <p><b>理科一類・二類・三類生</b> (中略)</p> <p>7) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに履修科目登録した展開科目・総合科目 (重率0.1または1) (注3) (中略)</p> <p>(注3)算入することにより「工学部指定平均点」が大きくなる場合に限り重率1。小さくなる場合は重率0.1。</p>	評点	0	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95		∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫		49	54	59	64	69	74	79	84	89	94	100	工学部評点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
評点	0	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																								
	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫																																								
	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94	100																																								
工学部評点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																								

			<p>「工学部指定平均点」について、別紙A(1)②～⑦の記載事項と異なる点は以下のとおりである。</p> <p>(中略)</p> <p>④ 総合科目について、重率「1」となる最終順位の科目が2単位科目で重率「1」の対象内外にまたがる場合は、2単位のうち1単位が重率「1」、1単位が重率「0.1または1」で「工学部指定平均点」に算入される。</p> <p>⑤ 総合科目D系列「スポーツ・身体運動実習」、及び「スポーツ・身体運動実習Ⅱ」及び「スポーツ・身体運動実習Ⅰ (PEAK)」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ (PEAK)」について、「工学部指定平均点」に重率「1」で算入されるのは合わせて2単位まで、重率「0.1または1」で算入されるのは1単位までである。</p> <p>(中略)</p>
	システム創成A システム創成B システム創成C	第二段階	<p>「システム創成学科第二段階指定平均点」は、次の式で算出される。</p> <p>「システム創成学科第二段階指定平均点」 = 「工学部指定平均点」×取得単位数(上限90単位)※</p> <p>※ 取得単位数(上限90単位)には、合格・不合格のみの評価による科目を含む。</p> <p>その他は、「工学部指定平均点」の記載と同様である。</p>
農	全専修	第一段階 第三段階	<p>「農学部第一段階・第三段階指定平均点」は、次の式で算出される。</p> <p>「農学部第一段階・第三段階指定平均点」 = 「基本平均点」×取得単位数(上限90単位)※</p> <p>※ 取得単位数(上限90単位)には、合格・不合格のみの評価による科目を含む。</p>

## (別表 2 A)

学部・学科別 重率・履修点一覧  
(平成28年3月29日 赤字部分を追記)

## 1. 重率

学部	学科等	対象となる 進学選択の段階	重率をかける科目等
教養	地域文化研究	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目（既修外国語）の成績上位4単位、 及び基礎科目（初修外国語※）の成績上位4単位 の重率を「1.5」とする。 ※外国語を「既修・既修」の組合せで履修している場合は、 初修外国語相当として入学時に選択した外国語。
	総合社会科学	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目（社会科学） の成績上位8単位までの重率を「2」とする。 （履修登録した科目のみを対象とし、8単位に満たない場合は、履 修登録した科目の単位のみに重率をかける。） 総合科目について、下記の大科目に属する科目の 成績上位4単位の重率を「2」とする。 A【現代哲学】【思想史・科学史】 B【国際関係論】【歴史世界論】 C【法と社会】【現代社会論】【関連社会科学】 【経済と社会】 F【統計学】 （履修登録した科目のみを対象とし、4単位に満たない場合は、 履修登録した科目の単位のみに重率をかける。）
	数理自然科学	第一段階 第二段階 第三段階	<理科全類> 基礎科目（情報）、基礎科目（自然科学） の成績上位8単位の重率を「1.5」とする。
	物質基礎科学	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目（自然科学） 総合科目E「振動・波動論、解析力学、相対論、量子論、 統計物理学、有機反応化学、 化学平衡と反応速度、分子システムの化学、 現代生命科学Ⅰ（文科生、理一生）、 現代生命科学Ⅱ（文科生、理一生）、 自然現象とモデル、生物物理学」 のうち成績上位8単位の重率を「2」とする。 （履修登録した科目のみを対象とし、8単位に満たない場合は、 履修登録した科目の単位のみに重率をかける。）
	統合生命科学	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目（自然科学）「力学A、力学B、熱力学、 化学熱力学、物性化学、生命科学、 生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」 総合科目E「振動・波動論、有機反応化学、 化学平衡と反応速度、物質化学（文科生）、 動物科学、植物科学、 現代生命科学Ⅰ（文科生、理一生）、 現代生命科学Ⅱ（文科生、理一生）、 生物物理学」 の成績上位8単位の重率を「1.5」とする。 （履修登録した科目のみを対象とし、8単位に満たない場合は、 履修登録した科目の単位のみに重率をかける。）

教養 (続き)	国際日本研究 (PEAK後期)	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目 (既修外国語) 「英語」の全科目の重率を「2」とする。
工	社会基盤学A 社会基盤学B 社会基盤学C 建築学 機械工学A 機械工学B 航空宇宙学 精密工学 電子情報工学 電気電子工学 応用物理・物理工学 マテリアル工学A マテリアル工学B マテリアル工学C 応用化学 化学システム工学	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目「初年次ゼミナール文科」の2単位の重率を「0(ゼロ)」とする。
	計数工学・数理/システム情報	第二段階 第三段階	基礎科目「初年次ゼミナール文科」の2単位の重率を「0(ゼロ)」とする。 基礎科目「情報」 基礎科目 (物質科学) 「熱力学または化学熱力学、構造化学、物性化学」 基礎科目 (生命科学) 「生命科学、生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」 の計9単位または計12単位の重率を「1.5」とする。 基礎科目 (数理科学) 「数理科学基礎、微分積分学、線形代数学」 基礎科目 (物質科学) 「力学、電磁気学」 の計12単位の重率を「2」とする。
	化学生命工学	第二段階 第三段階	<理科一類> 基礎科目 (物質科学) 「熱力学、構造化学、物性化学」 基礎科目 (生命科学) 「生命科学」 の計7単位の重率を「2」とする。 <理科二・三類> 基礎科目 (物質科学) 「化学熱力学、構造化学、物性化学」 基礎科目 (生命科学) 「生命科学Ⅰ」 の計8単位の重率を「2」とする。
理	数学 情報科学 物理学 天文学 地球惑星環境学 化学 生物学 生物情報科学	第一段階 第二段階 第三段階	要求科目の重率は全て「1」とする。
	地球惑星物理学	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目 (数理科学) 「数理科学基礎、微分積分学、線形代数学」 基礎科目 (物質科学) 「力学、電磁気学、熱力学または化学熱力学」 の計14単位の重率を「2」とする。

理 (続き)	生物化学	第一段階 第二段階	理科生については、総合科目EおよびFの成績上位6単位までの重率を「2」とする。 (単位取得した科目のみを対象とし、6単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。)
農	応用生物学 緑地環境学	第二段階	基礎科目の成績上位16単位、 及び総合科目の成績上位4単位の重率を「5」とする。
	森林生物科学 森林環境資源科学	第二段階	基礎科目と総合科目の成績上位20単位の重率を「5」とする。
	水圏生物科学	第二段階	<理科全類> 基礎科目(自然科学)の成績上位6単位、 及び総合科目A~Fの成績上位6単位の重率を「5」とする。 (総合科目A~Fについて、単位取得した科目のみを対象とし、6単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。)
	生物素材化学 木質構造科学	第二段階	<理科全類> 基礎科目(自然科学)の成績上位10単位、 及び総合科目D・E・Fの成績上位4単位の重率を「5」とする。 (総合科目D・E・Fについて、単位取得した科目のみを対象とし、4単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。)
	農業・資源経済学	第二段階	<文科全類> 基礎科目(社会科学)「経済Ⅰ、経済Ⅱ」の2科目4単位の重率を「2」とする。 (単位取得した科目のみを対象とし、4単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。) <理科全類> 総合科目C「政治経済学、現代経済理論、経済政策」の3科目6単位の重率を「2」とする。 (単位取得した科目のみを対象とし、6単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。)
	フィールド科学	第二段階	基礎科目の成績上位10単位の重率を「5」とする。
	国際開発農学	第二段階	基礎科目(既修外国語・初修外国語)と総合科目L(国際コミュニケーション)「外国語初級、外国語中級、外国語上級」のうち成績上位20単位の重率を「2」とする。 (単位取得した科目のみを対象とし、20単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。)
薬		第一段階 第二段階 第三段階	要求科目の重率は全て「1」とする。
医		第一段階 第二段階 第三段階	要求科目の重率は全て「1」とする。

※「成績上位○単位」とある場合、「成績上位○単位」の中に1単位科目を含み、○単位目が2単位科目となる場合、2単位のうち1単位に重率をかけ、もう1単位には重率をかけない。

## 2. 履修点とその加点方法

学部	学 科 等	対象となる 進学選択の段階	履修点を加算する科目等
教養	国際日本研究 (PEAK後期)	第一段階 第二段階 第三段階	主題科目「学術フロンティア講義(PEAK) (Introduction to Japan in East Asia)」 の修得に対し履修点「1点」を加算する。
工	機械工学A 機械工学B 精密工学 電子情報工学 電気電子工学 マテリアル工学A マテリアル工学B マテリアル工学C 応用化学 化学システム工学	第一段階 第二段階 第三段階	総合科目D「現代工学概論」 総合科目D「環境・エネルギー工学概論」 総合科目E「物質・生命工学概論」 総合科目F「情報システム工学概論」 の修得に対し、いずれか1科目を履修点として「0.1点」を加算する。
	航空宇宙学	第二段階 第三段階	総合科目F「図形科学A、図形科学B」 の修得に対し、いずれか1科目を履修点として「0.1点」を加算する。
理	地球惑星物理学	第一段階 第二段階 第三段階	総合科目E「振動・波動論、統計物理学、 惑星地球科学Ⅰ（理科生）、 惑星地球科学Ⅱ（理科生）、 地球惑星物理学入門、 惑星地球科学Ⅰ（文科生）、 惑星地球科学Ⅱ（文科生）」 の修得に対し履修点として各「1点」2科目最大2点を加算する。
	地球惑星環境学	第二段階	<理科全類> 総合科目D「地球環境論、環境物質科学、生態学、 社会環境論、水と土の環境科学、放射線環境科学」 総合科目E「分子システムの化学、動物科学、 植物科学、進化学、分子生命科学、 人類科学、惑星地球科学Ⅰ（理科生）、 惑星地球科学Ⅱ（理科生）、 地球惑星物理学入門、地球惑星環境学入門、 惑星地球科学実習、宇宙科学Ⅰ（理科生）、 宇宙科学Ⅱ（理科生）、微生物の科学、 海の生命科学、自然現象とモデル」  <文科全類> 総合科目D「地球環境論、環境物質科学、生態学、 社会環境論、水と土の環境科学、放射線環境科学」 総合科目E「物理科学Ⅰ（文科生）、 物理科学Ⅱ（文科生）、 化学平衡と反応速度、物質化学（文科生）、 分子システムの化学、動物科学、 植物科学、進化学、分子生命科学、 人類科学、地球惑星物理学入門、 地球惑星環境学入門、惑星地球科学実習、 惑星地球科学Ⅰ（文科生）、 惑星地球科学Ⅱ（文科生）、 宇宙科学Ⅰ（文科生）、微生物の科学、 海の生命科学、自然現象とモデル」 の修得に対し履修点として各「0.5点」4科目最大2点を加算する。
	生物化学	第一段階 第二段階	総合科目E「分子生命科学、現代生物学」 の修得に対し履修点として各「1点」2科目最大2点を加算する。

理 (続き)	生物学	第一段階 第二段階	総合科目E「現代生物学」 の修得に対し履修点として「2点」を加点する。
-----------	-----	--------------	--

## (別表3)

## 学部・学科別 面接・志望理由書一覧 (予定)

## 1. 面接

学部	学科等	対象となる 進学選択の段階	面接の詳細
工	社会基盤学A 社会基盤学B 社会基盤学C	第二段階	志望理由書の記述内容を参考にして面接を行う。
	化学生命工学	第二段階 第三段階	希望する学生に対して専攻長を含めた教員との面接を行う。面接を受けた学生には、加点して順位づけを行う。面接日については個別に問い合わせの上設定する。
教養	学際科学科 (B群)	第二段階	
理	地球惑星物理学	第三段階	
	地球惑星環境学	第三段階	
農	全ての専修	第三段階	面接を実施する場合もあり得る。
薬		第二段階 第三段階	面接を実施する場合もあり得る。
医	医学	第二段階 第三段階	
	健康総合科学	第三段階	

## 2. 志望理由書

学部	学科等	対象となる 進学選択の段階	志望理由書の詳細
工	全ての学科	第二段階 第三段階	工学部の進学単位をいずれかひとつでも志望する場合は、「後期課程に向けての抱負と自己アピール」を工学部統一様式により提出する。
文	A群 (思想文化)	第三段階	志望理由書
	C群 (東洋史)	第二段階 第三段階	志望理由書
教育	全てのコース	第二段階 第三段階	800字程度の志望理由書
教養	統合生命科学	第二段階 第三段階	様式、分量等は定めない
理	地球惑星物理学	第三段階	1200字程度の志望理由書
	地球惑星環境学	第三段階	1200字程度の志望理由書
医	医学	第二段階 第三段階	中学校卒業時からの学歴・経歴、1200字程度の志望理由書
	健康総合科学	第二段階 第三段階	3専修 (環境生命科学、公共健康科学、看護科学) のどれを志望するか、1500字以内の志望理由書

※志望理由書には、学生証番号・氏名・所属科類を記入すること。

※他人の文章を剽窃することや、本人以外が志望理由書を作成することは、当然のことながら行わないこと。

(参 考)

## 留年等により平成 30 年度進学選択に参加する学生への注意事項

平成 30 年度（平成 29 年実施）進学選択について、入学時に配付された『履修の手引き』に記載の内容から一部変更となります。留年等により平成 30 年度進学選択に参加する学生は、注意してください。

### 記

1. 進学選択に用いる平均点計算や評価尺度（重率・履修点等を含む）について  
入学時に配付された『履修の手引き』から変更されます。詳細については、3 月上旬に UTask・Web に掲載されますので、必ず確認してください。なお、2S2 ターム、2S セメスタ一までの成績を用いて進学選択を実施します。
2. 進学選択の日程について  
平成 29 年 6 月中旬 2S1 ターム成績確認、第一段階進学志望登録  
〃 8 月上旬 第二段階進学志望登録  
～下旬  
〃 8 月中旬 2S2 ターム、2S セメスタ一成績確認、第一段階進学志望変更登録  
〃 8 月下旬 第一段階進学内定者発表  
〃 9 月中旬 第二段階進学内定者発表、第三段階進学志望登録  
〃 9 月下旬 第三段階進学内定者発表
3. 進学選択の志望登録数について  
第一段階 単願（1 つの進学単位のみ）  
第二段階 進学単位間による複願（学部を跨いで登録する事も可能、複願数の上限は設けない）  
第三段階 第一志望から第三志望それぞれで単願、または志望学部内で複数の進学単位がある場合は複願で登録することができる。
4. 「進学選択が可能となる条件」（平成 26 年度以前入学者は「進学振分けの対象となる条件」）について  
入学時に配付された『履修の手引き』からの変更はありません。
5. 「1 年次から 2 年次へ進級するための条件」（平成 26 年度以前入学者のみ）について  
入学時に配付された『履修の手引き』からの変更はありません。
6. 要求科目・要望科目について  
入学時に配付された『履修の手引き』からの変更はありません。

なお、上記については「平成 30 年度進学選択」から適用するものであり、平成 28 年 6 月から手続きが開始される「平成 29 年度進学選択」においては、平成 27 年 4 月に配付した「履修の手引き（平成 26 年度以前の入学者用の補遺を含む）」に記載の方式により実施するので注意すること。

平成 28 年 2 月 教養学部前期課程